

国際ロータリー 第2780地区



世界に希望を生み出そう

ガバナー月信

2023年8月号 No.2

2023-2024年度ガバナー 田島 敏久

RID2780地区テーマ

若者と希望:MENTAL HEALTHで和の世界を生み出そう



横須賀RC: 10000mプロムナードクリーン作戦



横須賀北RC: 追浜地域事業



横須賀西RC: 大明時チャリティコンサート



三浦RC: 創立60周年記念式典・交流会



横須賀南西RC: 移動例会



第一グループ: 三役会

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2780

2023-2024



クラブ会長・幹事の皆様、 そしてクラブ会員の皆様へ

国際ロータリー第2780地区
2023～24年度ガバナー

田島 敏久

(相模原西RC)



2023年7月1日、東京グランド PRINCE ホテル高輪に於いて、2023～2024年度第1回ガバナー会議が施行され、34地区のGEがガバナーになる儀式が行われて、引き続き2023～2024年度ガバナー・元ガバナー・次期ガバナー懇談会が施行されました。

直前ガバナー会議長島村文雄様の司会の下に会は進められ、RI理事佐藤芳郎様の挨拶に始まり、小沢一彦元RI理事の挨拶と乾杯の音頭を唱和され、現在のROTARY活動の原点、会員減少の中、地区役員の頭でっかちを指摘されて会員増強を指摘されました。三木明財団管理委員も同様な指摘され、このままでは役員の数を減らすべきと唱えました。GORDON RI会長声明7項目の実現を目指す必要も指摘されました。①継続と変化、②平和と希望、③ROTERACT CLUBと協力、④女兒のエンパワーメント/DEIの促進、⑤POLIO根絶の推進、⑥行動計画の実践、⑦MENTALHEALTH以上です。

わが2780地区役員小沢一彦PG、松宮剛PG、小佐野圭三PG、山地裕昭PG、森洋PG、相澤光春PG、田中賢三PG、佐野英之PG、大谷新一郎PG、杉岡芳樹PG、久保田英男PG、田島透PG、佐藤祐一郎PG、佐々木辰郎GE、松下孝GN、応援参加ありがとうございました。今後の行事開催に当たり心強いです。ありがとうございました。

さて、さて7月は母子の健康月間でしたが、ROTARY財団のGLOBAL補助金適応・重点分野の一つです。

出産時・出生時の死のRISK【産むとき・生れるときは一番死に近い】と我々産科医療で言われています。

1990年以来、1日当たり子供の死亡数は1万7000人減少したものの、毎年世界で500万人を超える子供たちが誕生日を迎える前に命を落としています。現在、日本は世界で一番赤ちゃんが安全に生まれる国です。乳児死亡率は令和元年1.9で、SWEDEN、ITALY、DEMMARKと続きます。一方、妊産婦死亡率は最近まで、欧米諸国と比較すると高率でありましたが、令和元年の妊産婦死亡率は3.3を示して、世界でTOP～LEVELに達しています。1年間で25～30名であります。諸外国、GLOVAL SOUTHを見れば、我々日本のROTARIANの出番が多いと思います。更に、一層頑張ろうと思います。

最後になりますが、近々大きなガバナーEVENTSは10月25日、世界POLIO DAYにCHARITY CONCERTを、11月25日～26日地区大会、大会時に3662姉妹地区締結、10周年記念式典を同時に予定しております。皆様方の協力無くしては、成功裏に終えることが出来ません。応援参加宜しくお願い致します。この紙面をお借りしてお願い申し上げます。



月間に因んで

地区会員増強・拡大維持委員会

委員長 山田 嗣

(鎌倉中央RC)



今年度の地区会員増強・拡大維持委員長を務めさせて頂く、鎌倉中央RCの山田嗣と申します。昨年までの岩澤委員長の華々しい活躍の足元にも及びませんが、精一杯努めさせて頂きます。一年間宜しくお願い致します。

今月は会員増強月間という事で、原稿依頼があるとは思っていましたが、私の勝手な勘違いで委員長就任挨拶の方に述べたい事、伝えておきたい事を纏めてしまいました。全面的に書き直そうかとも思ったのですが、長い文より、短い方を好まれる方も多いかと思い、同じ号という好機を活かして、挨拶と補足をこちらに回させて頂きます。

まずは、ロータリーの目的。こちらを軽んじる方はいないと思います。2022年版の手続要覧の標準ロータリークラブ定款第5条に明記されておりますので、興味のある方は一読をお願いします。4つの目的を、標語として掲示されている所もあります。月一回復唱するクラブもあります。もちろん手帳にも。まさに目にし、耳にすることも多いのではないのでしょうか。その第一の最初に書いてありますから、「知り合いを広めること」はとても大切なのだと思います。

「知り合いを広めること」と会員増強は同義ではありません。会員増強を新会員獲得だけと捉えるのは、「知り合いを広めること」の一つの側面でしかないと思います。会員増強には拡大維持の面から考えても明らかなように、会員の力量を蓄えさせ、さらに発展、養成するという意味合いも含まれているのではないのでしょうか。そのための一つの手段として、「知り合

いを広めること」は他クラブとの交流等による「新しいつながりを作る」という事が有効になってくると思います。

難しく考えないで会員増強に必要なのは、まずは会員が楽しいと思えるクラブであり、次に新しい知り合いを作れる機会を紹介できるクラブではないのでしょうか。自分が楽しめないクラブに誘うのを罪とまでは申しませんが、あまり誉められた行為ではないと思います。新しい知己を得るというのはクラブ内に限らず、グループ、地区、全国、国際の組織の中で、新しい仲間に出会える魅力を会員に還元する事だと思います。

このためのサポートを今年度の会員増強委員会では進めたいと思っております。他の委員会の内容と重なる部分も多いので、都度、各委員会の方々と話し合い、お力をお借りしながら、クラブの発展に寄与できればと思います。

クラブの会員増強委員の方には、1か月1度、多くの方の前で「会員増強をお願いします」と声に出してお願いして下さい、とお頼みしています。一つの委員会だけではなく、少しでも多くの方を巻き込んで、目的を共有し合い、一杯関わって頂けば、より一体感が増すのではないのでしょうか。

会員増強と聞いたら、「知り合いを広めること」を思い出し、より楽しいクラブに、そして多くの方と関わる「和をもって貴しとなす」ことを考えて下さい。

会員増強を魔法の言葉に。一年間頑張りましょう。

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
月間に因んで	3
世界ポリオデーキャンペーンについて	4

委員長挨拶	5
第1グループ・クラブ紹介	14
新会員紹介	16
地域の社会奉仕団体活動を支援して	17

世界ポリオデーと地区公共イメージ委員会の役割



地区公共イメージ委員会
委員長 松 下 力
(ふじさわ湘南RC)

2023～2024年度、地区公共イメージ委員会の委員長を拝命いたしましたふじさわ湘南RCの松下力でございます。

また本年度は、2023年10月25日の世界ポリオデー、「大和市文化創造拠点シリウス」にて開催される「夢の音楽祭(Polio Day)」の副実行委員長も拝命しております。

「夢の音楽祭(Polio Day)」では、収容人数1100名のメインホールと障害をお持ちの方向けライブビューイング用のサブホールを設け、ポリオ根絶の推進と世界平和を実現する為のチャリティーコンサート(事前にチャリティーチケットを2,000円で購入)を3部制にて開催いたします。

<第1部>

医師であらせられる田島敏久ガバナーによるポリオという病気の基礎知識に関するご講演。また自ら何度もインドに足を運ばれ、子供たちへのポリオワクチン投与を経験されている相澤光春パストガバナー(ロータリー米山記念奨学会 副理事長)によるインドでの体験談。

そして小沢一彦パストガバナー(元RI理事・ロータリー米山記念奨学会 名誉理事長)によるポリオの基調講演をお願いしております。

第1部では、体験談やご講演を通じて、ポリオという病気、ポリオ根絶に向けたロータリーのこれ迄の活動経緯についてご理解いただきます。

<第2部>

ロータリー学友会による演奏、並びに地区内有志によって結成されたロータリーバンドによるオールデーズの演奏をお聴きいただきます。

<第3部>

日本を代表するピアニストの一人であり、国内はもとより、海外のオーケストラとの共演を重ねるなど国際的にも高く評価され、エリザベ

ト王妃国際コンクール他、数々の国際コンクールに入賞された花房晴美氏による演奏をお聴きいただきます。

そしてこの「夢の音楽祭(Polio Day)」の開催にあたり、地区公共イメージ委員会が担うべき役割とは何か…と考えた時、

私達はその役割を、

*「ポリオ」という病気に対する正しい理解と偏見の排除!

*ロータリアンだけでなく、地域社会と地域に住まう人々に、「夢の音楽祭(Polio Day)」に足をお運びいただくキッカケ作りと行動の後押し!

*そしてエンドポリオを始めとしたロータリーが取り組む様々な奉仕活動への共鳴・共感と公共イメージの向上!と捉えております。

本年度、地区公共イメージ委員会が掲げたテーマは「community and people(地域社会と人々に)」です。

このテーマには、

①地区と各クラブが実践する、素晴らしい奉仕活動を!

②フェイスブック、YouTube、インスタ、プレスリリース等、様々な手段を通じて発信し!

③ロータリーの認知度を高め、

地域社会と人々にロータリーへの興味喚起と奉仕活動への参画意識を後押しする!

という思いが込められております。

「夢の音楽祭(Polio Day)」が成功裏に終わる様、地区公共イメージ委員会は自分達が担う役割と、委員会が掲げた本年度テーマを心に刻み準備を進めて参ります。

地区内ロータリアンの皆様、どうか今からご家族、ご親戚、お知り合いの方々に「夢の音楽祭(Polio Day)」のご案内を宜しく願いいたします。

地区戦略計画委員会

委員長 田島 透 (ふじさわ湘南RC)

『地区ビジョンの実現』

当地区では2019年7月から新しい戦略計画（ビジョンと行動計画）をスタートさせています。

「地区の現状はどうか」「地区はどうあるべきか」「どうなりたいのか」などの問題点を検討



した上で地区ビジョンを作成しました。その目的は、組織を強化することでロータリーの価値観を今後もずっと守ること、ロータリーに参加するすべての人が有意義で価値ある経験ができるようにすること、そしてより多くの人の暮らしと地域社会をより良くすることです。また時代に即した組織としてさらなる発展し進化していくための指針となることです。

この地区ビジョンの実現には行動計画が必要です。地区の行動目標は、「地域社会の変化とニーズを捉える」、「地域社会のインパクトをもたらす」、「多様な人々との出会いと繋がり」、「積極的に行動します」です。地区ではクラブが独自の行動計画を立てる際、地区の優先事項を参考にし、共通の目標の下に会員や地域社会に奉仕するために各クラブの事情やニーズに合った行動計画を立てることを推奨しています。

時代の変化は著しく、新型コロナに対応してきた経験、そして新しいテクノロジーによってネットワークと奉仕のための新しい機会が生まれています。しかし、変わらないこともあります。それは、親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ、つまりロータリーを定義する価値観に対するニーズです。

地区の行動計画は、RIビジョンと共通の理念の下で、進化する世界において、持続可能な良い変化を生むために、より多くの人びとが手を取り合って行動するというビジョンを達成するための道筋を示すものです。

当委員会では地区ビジョン、地区優先事項、地区行動目標を各クラブ、各ロータリアンの皆様に理解を深めて頂くことを支援してまいります。

地区研修委員会

委員長 田中 賢三 (茅ヶ崎RC)

『ロータリーはESS』

地区研修委員会の役割は3つあります。1つ目は地区大会指導者育成セミナーやロータリー財団セミナーなど今年度のためのセミナーを支援する事。2つ目はガバナー補佐エレクト研修、



地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会などの準備をする事。3つ目はクラブに対して研修や情報の提供をする事です。ロータリーは5大奉仕、ロータリー財団、米山記念奨学事業などの奉仕活動と組織の維持拡大のための増強や公共イメージ、組織管理の定款細則、ロータリーの理念であるところの中核的価値観や戦略計画など、歴史やテクニクなど等、本当に大きな内容を包含しています。ですからロータリーはESSなのです。「Enjoy・Service・Study」、学び、奉仕して、ロータリーを楽しむ事です。ロータリーはこのスパイラル向上運動なのです。ロータリーに関われば関わるほど「Enjoy Rotary」を享受できるのです。地区研修委員会は14名全員で頑張りますので今年度もまた1年間よろしくお願い致します。

地区危機管理委員会

委員長 石田 隆 (逗子RC)

『ロータリーの将来を見据えて』

昨年度に引き続き今年度も危機管理委員長を仰せつかりました逗子RCの石田です。現在、危機管理はロータリー活動を始め、家庭や企業活動等あらゆる場面において必要とされています。



しかし、危機管理意識の面ではまだ不十分と言わざるを得ない状況です。今年度は、ロータリアンの皆さんの危機管理意識を高めて頂く一年にしたいと考えております。その手段として、一昨年度から開催している危機管理セミナーを今年度後半に予定しております。また、クラブから危機管理に関する



委員長挨拶

卓話のご依頼もお受け致します。ロータリーの危機管理は、当初は青少年交換学生が対象でしたが、後に米山奨学生、財団奨学生を含む青少年奉仕全般に拡がり、2020年にはRIより「成人ハラスメントポリシー」に関する規定が発表され対象がロータリアンにまで拡大しました。和やかで快いロータリーライフを実践して頂く一助になるよう活動してまいります。宜しく願い申し上げます。

姉妹地区委員会

委員長 佐野 英之 (秦野RC)

『10年を振り返り新たな門出へ』

2024年5月で満10年目を迎える姉妹地区委員会、元RI会長、韓国のD.K.Lee様と元RI理事小沢様の協議の結果、新たに誕生した第3662地区との地区姉妹締結、今思えば山あり谷あり歴代委員長さんも苦勞しておりましたが、何とか無事に今日を迎える事となります。締結当初は相互の地区大会を訪問し、友好を深めてまいりましたが、小沢様がRI会長代理で訪問されて以来、俄然地区における認知度も深まりました。両地区のグローバル補助金奉仕活動や地区補助金を活用した中学生交換交流会、昨年度からは女性会員同士の文化交流等、第3662地区の女性パワーの力を少しでも当地区に招き入れる様に情報交流が始まりました。以上が創立からの経緯ですが第3662地区の人口は当地区の相模原市とほぼ同じ人口を擁し、ロータリー会員は当地区の倍近い4600名、アーチクラフが12名で、一昨年は財団寄付が世界第1位を示したそうです。この様にロータリーの歴史は短会ですが、会員数、財力は遙かに当地区を上回っております。これらを良く踏まえて本年度は対処して行く積りですので、宜しく願い申し上げます。

- 一、姉妹地区10周年式典開催
- 一、女性会員間のzoom会議の開催
- 一、日韓親善会議
- 一、両地区文化交流
- 一、両地区ローターアクト交流の促進
- 一、その他



地区ホームページ委員会

委員長 義澤 彰 (相模原西RC)

『地区ホームページの活用を』

地区のHPは大きく二つに分かれております。1つは会員専用ページ、そしてもう一つが一般向けページとなっております。

一般向けは、まず第2780地区をそして地区内の各ロータリークラブを紹介、その各クラブの活動報告、また地区各委員会の活動報告を目にさせていただいて多くの方にロータリークラブを知っていただきそして興味を持っていただけるようなページとなっております。

もう一つは会員専用ページ。こちらは会員が知りたい情報を掲載しております。地区大会、国際大会、ロータリーレートや地区カレンダーなど多くのコンテンツがあります。また、リンクからロータリーについての情報を得ることが簡単にできます。リンク先にはガバナー月信、ロータリーの友、過去資料、ロータリー文庫、My Rotary、財団室ニュース、米山記念奨学会など是非皆様に活用して頂きたいと思っております。

今年度もHPをブラッシュアップして参りますので宜しく願います。



ロータリーの友地区代表委員

中村 辰雄 (相模原南RC)

『ロータリーの友誌・購読率向上願って』

現在、「ロータリアン三大義務」は何か、今や死語に近い状況のようです。その一つがロータリーの友を読むことを、身近なクラブ会員へロータリーの友誌（以下友誌）読んでいますか、どの欄（コーナー）が好きですか、興味ありますかなど問いかけてみても、曖昧な受け答えでした。この現状を少しでも変えてゆかなければいけないと思い、二度目の「ロータリーの友地区代表」を受けました。友誌の掲載内容についてもロータリーの友事務所へ毎月忌憚ない



意見・感想を述べさせて頂き、少しでも多くの会員に読んで戴けますよう、各クラブへメールアップ、卓話等おこない、各クラブが計画された奉仕活動への手引書となるよう、また世界のロータリー情勢や他のクラブ活動への視野を広めて戴きますよう、友誌地区代表として願っている次第です。

友誌は日本ロータリー唯一の情報機関誌です。少しでも多くの会員の皆様に読んで戴き、会員皆様が現在の社会情勢に合った。ロータリーライフを送る一助になりますよう尽力して参ります。

地区クラブ管理運営委員会

委員長 辻 彰彦 (大和中RC)

『対話を通じて

信頼を築くことが重要』

本年度、田島ガバナーは、若者と希望：「メンタルヘルスで和の世界を生み出そう」をテーマに掲げ、ロータリー活動の原点はクラブにあり、ひとり一人



の会員が大切であることを強調され、対話を通じて信頼を築くことが重要であると示されております。

クラブ管理運営委員会の役割は、クラブの効果的な運営のために活動することで、クラブが効果的に運営されてはじめて、地域社会に奉仕し、会員を維持できるのではないかと考えます。そこで当委員会では、クラブに寄り添う姿勢を大切に、各クラブが抱える悩みや疑問に対して共に考え、解決していくことでクラブの活性化を演出したいと思っております。

また、委員会内には、クラブ支援担当、ICT推進担当及び規定審議会担当という3部門が存在し、それぞれが有機的に機能して各クラブの支援に取り組んで参ります。

すべての会員にロータリーライフを楽しんで頂くように英知を結集し、元気なクラブづくりを目指したいと考えます。

一年間、よろしくお願い致します。

地区公共イメージ委員会

委員長 松下 力 (ふじさわ湘南RC)

『community and people

(地域社会と人々に)』

地区公共イメージ委員会の委員長を拝命致しましたふじさわ湘南RCの松下力でございます。

本年度、地区公共イメージ委員会が掲げたテーマは、

「community and people (地域社会と人々に)」です。

このテーマの意図は、

- ①地区と各クラブが実践する、素晴らしい奉仕活動を！
- ②フェースブック、YouTube、インスタ、プレスリリース等、様々な手段を通じて発信し！
- ③ロータリーの認知度を高め、地域社会と人々にロータリーへの興味喚起と奉仕活動への参画意識を後押しする！所にあります。

毎月、第3水曜日に行うSNSのlive配信では、毎回クラブよりゲストをお迎えし、クラブが実践される素晴らしい奉仕活動を地域社会と人々に積極的にPRして頂きます。

また奉仕活動の取材を通じて、ロータリーの素晴らしさを地域社会と人々に分かりやすい表現で発信して参ります。

奉仕というキーワードで地域社会、地域に暮らす人々と各クラブを繋ぐ触媒！それが地区公共イメージ委員会の役割です。



オンツール・シンガポール国際大会委員会

委員長 佐々木 辰郎 (大和田園RC)

『国際大会について』

2780地区のロータリアンとローターアクターの皆さんシンガポール国際大会で世界の仲間と語りましょう！

国際大会は世界から集まる仲間たちと友情と学びを融合し繋

がりをも深め、視野を広げつつ、一生の思い出でと末永い友情を作る事が出来る場でもあると思っております。



委員長挨拶

マーライオンで有名なシンガポールは建国後わずか55年の間に東南アジアでは欠かせない重要な役割を担うようになり、アジアでは唯一全ての主要な格付け機関からAAAの格付けを持つ国家であり世界有数の経済国家に成長を致しました。

ロータリークラブ最大の年次行事である国際大会は会員だけではなく一般の人々にロータリーとその活動を知ってもらうチャンスです。

シンガポール国際大会に参加し、皆さんの活動を世界を世界にアピールしましょう！

地区会員増強・拡大維持委員会

委員長 山田 嗣 (鎌倉中央RC)

「知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること」と、最新の手続要覧にもある通り、「知り合いを広めること」がロータリーファミリーにとって一番先の目的です。



会員増強はどうでしょう。勿論「知り合いを広めること」と会員増強は同義ではないですが、とても近い関係にあると思います。しかし会員増強というと身構えてしまう事が多くあるのではないのでしょうか。

難しく考えないで会員増強に必要なのは、まずは会員が楽しいと思えるクラブであり、また新しい知己を作れる機会を提供できるクラブではないでしょうか。

クラブの会員増強委員の方には、1か月1度、多くの人の前で「会員増強をお願いします」と、声に出してお願いして下さいとお頼みしています。その裏にはクラブ活動が充実し、新会員やゲストや交流等新しい風を多く取り入れられる魅力的なクラブにしましょう、という願いが込められています。

会員増強を魔法の言葉に。一年間頑張りましょう。

地区職業奉仕委員会

委員長 生駒 秀之 (綾瀬RC)

『2023～24年度「職業奉仕委員会」の展望』

2年目の委員長を迎えます。昨年のテーマ「第一歩」から本年度は、もう一步踏み込んだ委員会活動を目指しています。職業奉仕委員会については、R I



においても今は微妙な立ち位置になっています。22～23年度は2780地区においては多くの新しい会員、クラブを迎えました、またロータリーアクトの会員も加え、今後「職業奉仕」の考え方を伝えていく事について、本年度委員会は違う視点も持って対応していかなければならないと思っています。職業奉仕はロータリーの「倫理」であり、全ての奉仕活動につなぐ「金看板」であることは、多くの会員が思い、今も活動の基本です。委員会では、新しい会員へ「職業奉仕」をどのように伝えていくか？また、職業奉仕をどのように理解して頂けるか？また、その結果として様々な奉仕活動へつながっていくか？等、委員会会議で検討して、訪問卓話や委員会活動（ロータリーアクトなど協議中）を行う計画です。宜しくお願ひいたします。

地区社会・国際奉仕委員会

委員長 山口 俊明 (藤沢東RC)

『異文化との「和」で、
希望に満ちた社会を作ろう』

地区社会・国際奉仕委員会はクラブの社会奉仕、国際奉仕プロジェクト支援します。リソースの提供や地区社会・国際奉仕委員長研修会を通して、社会に希望を生み出せるような奉仕活動をサポートしていきたいと願ひしております。



2023～24年度11月11日アイクロス湘南にて地区社会・国際奉仕委員長研修会の開催を計画しており、『異文化との「和」で、希望に満ちた社会を作ろう』をテーマに講演とロータリーとしてどのような活動ができるかを、グループ討論して頂こうと考えてお

ります。又、前年度は地区ホームページに「地区リソースネットワークの案内」を掲載いたしました。地区のホームページをより生きた情報インフラとして位置付け情報の集約を行う「ネットワーク媒体」として、紹介と登録・利用の推奨の広報活動を計画しております。ご協力の程よろしくお願いいたします。

地区青少年奉仕委員会

委員長 中込 仁志 (鎌倉RC)

『青少年奉仕活動を青少年の手で』

当委員会は、青少年交換、インターアクト、RAYLAの3つの委員会を統括させていただきます。

それぞれの委員会に専任委員長がおられますので、それぞれの活動の主体は各委員会にお任せし、委員会活動が委員会内に留まることなく、当地区事業に関連する青少年の方々が、広く参加出来る様、3つの委員会間の調整を主として統括管理をさせていただきますと考えます。

更には、3委員会間に留まることなく、ROTEX、米山奨学生、米山学友、ローターアクトの皆様にもご協力を頂き、ご参加の門戸を広げ、当地区内在籍の全ての青少年対象者が参画出来る青少年奉仕活動の展開を試みます。

委員会内独自の慣習、慣例に捉われることなく、地区全体での青少年奉仕の実践を目指し、青少年の皆様が、自ら企画、立案、行動出来るような事業を展開できることを目指します。

地区内全てのロータリー会員の皆様の、ご理解、ご協力を頂けます様、お願い申し上げます。



インターアクト委員会

委員長 林 雅巳 (鎌倉RC)

本年度は、昨年の事業に加えて4年間中止していた台湾研修事業と新事業を2つ行います。

台湾研修は12月24日から3泊、台湾のRID3481台北市内で国際理解・親善推進を目的として開催します。

新事業の1つ目は「インターアクト (IA) 役員研修会」です。コロナ禍前に開催されていた各事業 (対面でのアクターズミーティング、一泊研修、年次大会、新世代交流会) が久しぶりに開催することができました。しかし、3年間のブランクのせいか、IA内で知識の伝承が滞ってしまっているのではないかと感じるケースが散見されました。そこで今年度は暗黙知から形式知にすべく、IA定款並びに細則の内容確認など基礎基本から学ぶ機会とすべく研修を行います。

2つ目は「サマーミーティング (SM)」です。地区IA活動へ参加したアクターや顧問教諭の皆さんからの感想で「他校間交流」を上げるケースを多数受け取ります。年度初めに学校の夏季休暇もあることから7月にSMを開催し、交流を図る機会を設け、1年を通じてより深い交流ができるようにします。

どうぞ一年間ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



青少年交換委員会

委員長 新井 智代 (藤沢南RC)

『高校生の親善大使が

世界の希望となる1年に。』

前年度3年ぶりに選考された学生が本年度7月～8月にかけて海外へ向けて出発いたします。その交換として8月にはカナダ・ドイツ・イタリア・フランス・

デンマーク・スウェーデン・台湾・ブラジル・メキシコより計9名の学生が来日致します。ご準備を重ねてくださったホストクラブの皆様に改めまし





委員長挨拶

て感謝申し上げます。

海外から一人で飛び込んでくる高校生が新しい風になり、ホストクラブの皆様をはじめ第2780地区の全ての会員の皆様が世界と繋がり多様性を実感する機会となりますように、委員会一同でしっかりサポートさせていただきます。来日後の彼らの成長を見守りながらも、11月には次年度出発の派遣候補生の選考も行います。未来の希望を育てる1年に努力を重ねる所存です。どうぞ皆様のご協力をいただけますようお願い申し上げます。

RYLA 委員会

委員長 脇 吉昭 (茅ヶ崎湘南RC)

『国際ロータリー第2780地区
独自のRYLA開催を』

前年度、当地区は約20年振りにRYLAを開催しました。

本年度は前年度のRYLA開催を踏まえて、当地区独自のRYLA開催を考えて居ります。

RYLAは若者たちがリーダーシップスキルを磨き交流するための素晴らしい機会です。参加の皆さんが、自己啓発やスキルアップのワークショップ等に参加し、他の参加者と意見交換やネットワーク作りを通じて相互理解を深めることができます。

本年度RYLAは3月か、4月の開催を予定しております。今回はローテクス、インターアクト、ローターアクト、米山奨学生等ロータリー関係の方々の参加を中心に外部一般の方々にも参加を呼び掛ける予定です。

対象年齢は15歳から25歳くらいまでとし、ロータリー関係者を中心に若い年齢にフォーカス致します。

10月をめぐりにプログラムを作成し、当地区独自のRYLAの開催を目指して行きます。

内容が固まり次第、参加者の募集や、地区の会員の皆様に、ご協力を呼び掛けてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



地区ローターアクト委員会

委員長 當間 安弘 (茅ヶ崎中央RC)

『融合によるスパイラル効果を』

前年度(2022~23年度)より、ローターアクトクラブは、ロータリークラブと同じ国際ロータリーの加盟クラブになりました。会費支払いの義務を負うと同時に財団プログラムへの申請機会を得ることができました。ただ、人的ネットワークの拡大・事業実施のための資金などロータリアンの支援を必要としているのが現状です。委員会としてもできる支援を心掛けていきます。

一方、ローターアクターの柔軟な発想力・ツールとして使いこなすだけのITスキルは、私たちロータリアンも学ぶべきところがたくさんあります。ローターアクターとロータリアンの融合から生まれる相乗交換はこれから楽しみです。

12月10日に開催予定のRID2780ローターアクト地区大会は、横須賀で開催されます。まずは一人でも多くのロータリアンに参加いただきローターアクターの活動に触れていただきたいと思います。地区代表を務める小用悠太共同委員長と共に楽しい委員会を創造していきます。



地区ロータリー財団委員会

委員長 後藤 定毅 (大和中RC)

『百人の一步の一人に』

国際ロータリーは、2010年7月ロータリー財団の運営を、地区の裁量権を大幅に認める改革を行いました。「未来の夢計画」として、世界から地区を選び、そして当然日本から選ばれた地区も含め、試験的プロジェクトを三年間の期限を区切って実施しました。我が2780地区は選外でしたが、その年地区ガバナーに就任した私は、「未来の夢計画準備委員会」を立ち上げ、改革に遅れないよう実施に向けた準備をしたことを懐かしく思い出します。

図らずも今年度ロータリー財団委員長に就任しま



したが、ご案内のようにロータリーにとって、ロータリー財団は大変重要なものになっています。ロータリーは世界中に知られていますが、もし「世界で良いことをしよう」というロータリー財団の存在がなかったら、果たしてこれほど社会や人々に認められるような団体、組織になったでしょうか。

「一人の百歩」に対し「百人の一步」という言葉があります。多くのクラブや会員の皆様に少しでもロータリー財団に関わって戴けるように、財団運営を心掛けたいと思います。

財団補助金委員会

委員長 吉野 龍彦 (平塚湘南RC)

『世界でよいことをしよう』

ロータリー財団では「世界でよいことをしよう」の理念の下で、財団寄付の意味と大切さをご理解して頂き、財団で将来のある若者・青少年の育成に尽力しつつ、補助金を使った素晴らしい奉仕事業が行なわれるように、クラブの皆様と寄り添い活動して参ります。

皆様からの貴重のご寄付は、

- ・地区補助金 (DG) = クラブ奉仕プロジェクト、地区奨学金
- ・グローバル補助金 (GG) = グローバルプロジェクト、ロータリー奨学金、平和センター、ポリオプラス

など有効に活用、利用させて頂いております。

補助金配分・VTT委員会、補助金管理委員会、財団資金推進委員会、平和フェロー、奨学金委員会、ポリオプラス委員会と密接に連携を計り、各クラブの皆様が補助金を使った素晴らしいプロジェクトを实践、実行して頂く為にお役に立てれば幸いです。



補助金配分・VTT委員会

委員長 前田 長生 (横須賀RC)

『より多くの奉仕活動を達成しましょう』

ご周知のとおり「地区補助金は、地元や世界各地の地域社会のニーズに取り組むための比較的規模の小さい、短期的な活動を支援する。これらの活動は、ロータリー会員が人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるよう支援する。」というロータリー財団の使命に沿い、奉仕活動を支援するための補助金の配分を決定するという役目があります。

より多くの奉仕活動の達成に向けて、補助金申請をより身近に感じていただくための努力をしていきます。

そして各クラブからの補助金申請が、より充実した意義のある奉仕活動に繋がるよう、ともに寄り添いながら考えさせていただきます。

多くの奉仕を实践して、豊かなロータリー人生を送りましょう。

どうぞ、よろしく願いいたします。



補助金管理委員会

委員長 坂根 隆志 (ふじさわ湘南RC)

本年度も引き続き補助金管理委員会の委員長を拝命しました。コロナ禍が明けて各クラブの事業が活性化されていくと思いますが、補助金事業についてもぜひ多くのクラブに挑戦して頂きたいと思っております。本年度は 思っ

たより少なめではありますが、9クラブの事業が予定されており、大変期待をしております。申請クラブの事業を終了まで見れるというのは、この委員会の特権だと思っておりますので、委員会メンバーで協力して役割を担って参ります。本年度の委員は、およそ半数が新しい方なので、留任された委員に新委員を





委員長挨拶

サポートして頂きながら、申請クラブのみなさんを支えていきたいと思えます。私事になりますが、別の団体の役割もあって、委員会への欠席する機会が増える年度となりますが、副委員長・委員みなさまの助けを頂きながら、一年を全うして参ります。1年間どうぞよろしくお願ひします。

財団資金推進委員会

委員長 山田 修 (相模原南RC)

『ロータリー財団への
寄付金について』

ロータリー財団への皆様からのご寄付は、地区補助金による奉仕活動以外にも平和フェローや財団奨学生といった将来を担う若者の育成にも有用に活用されています。

財団へのご寄付をお願いする前提として、財団への理解を深めて頂き、ご納得頂いた上でご寄付に協力して頂けるように推進していくのが当委員会の立場ですので、入会間もない会員が多いクラブや地区補助金の申請についてご関心のあるクラブは卓話にお招き頂ければ嬉しく思います。

地区目標は、年次基金1人200ドル以上、ポリオプラス1人40ドル以上、恒久基金1クラブ1名以上、ゼロクラブゼロの継続と例年通りです。

近年円安傾向にあり、200ドルの負担が以前と比べて重くなっているかと思いますが、今年度も引き続きご協力頂ければ有難く存じます。



平和フェロー・奨学金委員会

委員長 福山 茂 (相模原グリーンRC)

『皆様の寄付により多くの優秀な
人材が世界で活躍しています』

第2780地区平和フェロー・奨学金委員会は、3つの奨学金プログラム(平和フェロー奨学金・ロータリー奨学金・第2780地区ロータリー奨学金)を担当しております。



ロータリー財団は「世界で良いことをしよう」の理念の下、皆様の寄付で運営されています。その皆様からの寄付の一部が「人を育てるロータリー財団」の活動として、平和フェロー・ロータリー財団奨学生のための奨学金として活用されています。

平和フェロー、財団奨学生は多くの優秀な人材が世界で活躍しております。そのことを広くPRし、会員の皆様にご自身の寄付の重要性を実感していただき、誇りを持っていただける様努力いたします。

また今年度は前年度に引き続き当地区担当の平和フェローは4名となります。会員皆様との交流の機会を増やし、RIでポリオ撲滅に次ぐ重要なプログラムであるこの平和フェロープログラムについて、多くの皆様にご紹介したいと思ひます。

ポリオプラス委員会

委員長 笠間 治一郎 (綾瀬春日RC)

『もう少し！ ポリオ根絶』

今年度、ポリオプラス委員会の委員長を仰せつかりました笠間治一郎(綾瀬春日RC)です。よろしくお願いいたします。

ポリオ根絶はロータリーの最優先事項です。全世界でポリオ根絶を実現するため、世界中のロータリアンが活躍しています。今年度も昨年度に引き続き、各クラブにおいて、ポリオ根絶がロータリーの最優先事項ということを浸透していただき、ポリオ根絶の重要性を会員一人一人が理解し、「END POLIO NOW」の募金活動を各クラブ1回以上の実施をお願いいたします。また、上述のことをご理解の上、一人40ドルの寄付をお願いしたいと思ひます。そのために委員会として何が出来るかを検討し、各クラブのサポート、活動支援をと考えています。

また、10月24日は「世界ポリオデー」です。第2780地区では世界ポリオデーとして、10月25日にポリオ根絶の推進と世界平和を実現するための「チャリティーコンサート」を開催いたします。皆様のご協力をお願いいたします。

もう少しです。あと2か国、何とかゼロにしたいところです。各クラブ、会員一人一人に「活動と寄附」のご協力をお願いいたします。



地区米山委員会

委員長 三荒 弘道 (平塚RC)

『日本と母国との懸け橋へ
～学友からロータリアンへの
道筋づくり～』

今年度地区米山奨学委員会委員長を務めます三荒弘道と申します。



地区内各クラブ会長、幹事、カウンセラー、及びクラブ米山奨学委員会の皆様方におかれましては、米山奨学生・学友への日頃のお力添えを厚く御礼申し上げます。

さて、地区米山委員会は昨年度の1委員会構成から、1大委員会内に米山奨学・米山学友の2委員会がある構成とされました。昨年度の佐藤ガバナー期には、「第2回米山指定校担当教諭との懇談会」「第3回米山学友会同窓会」が開催。更には学友が新奨学生のお世話を努める「チューター制度」制定され、地区内米山の更なる前進がはかられました。今年度は田島敏久ガバナーの方針を受け、通常のみ山事業は元より、学友同窓会・チューター制度を基軸とした学友会の拡充、更には学友会からロータリアンを輩出する道筋づくりをはかって参ります。その為には地区内各クラブ会員一人一人のみ山への寄付増進とともに、世話クラブ会長様・カウンセラー様をはじめ、地区内クラブ会員皆様方のご支援・ご協力が無ければ全てが成り立ちません。

今年度米山関連2委員会は地区内諸先輩が築かれてこられた米山のバトンをしっかりと受け、米山奨学生が将来日本と母国との懸け橋になるべく、米山奨学生・学友に精一杯寄り添って参ります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますことを伏してお願い申し上げます、一言のご挨拶とさせていただきます。

米山奨学委員会

委員長 小山 美智恵 (横須賀RC)

『米山奨学生と共に歩むこと』

数多くの米山委員会の活動において、世界に平和の種子を蒔くという使命を念頭に置くことはとても重要だと思います。奨学金を渡す側としてだけでなく、奨学生との関わりを深め、相互



理解や信頼関係を築き、米山事業の意義をロータリアンの皆様と共有したいと思います。

同様に、大学関係者や地域の方々の協力も不可欠なため、彼らのご支援に感謝の意を伝え、共に活動していければと思います。

また、目的や重要な事柄は言葉で明確に伝えることで意思疎通を図り、反省を次の活動に生かしていくことで成果を上げたいと思います。

最後に、奨学生や学友、委員の皆様との活動を楽しみ、笑顔あふれる充実した一年間を送りたいと思います。

米山学友委員会

委員長 田島 富美子 (相模原西RC)

『米山に始まり 米山に終わる』

国際ロータリークラブで認証された日本が世界に誇る米山奨学金制度、カウンセラー制度があり、返還しないでよい奨学金と世話クラブのカウンセラーのきめ細かい交流ある奨学環境は、



日本でも世界でも唯一のものである。

奨学生は学友会へ継続して、母国での学友会活動を発展させて、日本との架け橋となる。

相模原西ロータリークラブの2016～2017年度会長職後、私は初めて地区へ出向しました。

女子学生が増えた為、セクハラ対策として女性医師が入用との事で、米山奨学委員会委員を拝命致しました。

まあ仕事をしたのは研修旅行で、バス酔の薬の投薬でした。

今年度米山学友会委員長を拝命致し、優秀で夢と希望、活力に溢れた若者が、2023～2024年度も CREATE Hope into the World を胸に活動していきますように尽力します。

微力ではございますが、ハートを込めて委員会と学友の心が一つになるように努めます。

どうぞよろしくご指導、ご助力をお願い申し上げます。

横須賀ロータリークラブ

会長 藤村 昌一



当クラブは1951年、横浜RCのスポンサーのもと、当初32名のチャーターメンバーでスタートしましたが、その後、順調に会員数を伸ばし、これまでに7つのクラブの輩出や創立に関わりながら、現在は69種の職業分類に総勢で120名（内女性16名）の会員が在籍しております。例会場は横須賀商工会議所の3階会議室ですが、会場を8つの島に分けてテーブルを配置し、テーブル単位で懇親ができるように、会員は各々決められたテーブルで歓談しながら会食します。そして、3カ月ごとに一斉に席替えを行い、テーブルごとに夕食会を開くなど、大勢の会員が偏りなく交流できるように工夫しています。また、クラブ組織は、5大奉仕分野のもとで23の委員会が編成されており、たとえば、主として入会の浅い（3年未満）会員で組織される親睦活動委員会は、約20名前後のメンバーによって例会や親睦会などの企画や運営に携わっています。こうしたマンパワーと多様な職能スキルを基盤として、様々な奉仕活動の実践を通じて、仲間の和（連帯感）を育てております。



最終例会藤村会長



三役写真



セブRCとの懇親会

横須賀北ロータリークラブ

会長 平林 祐樹



横須賀市北部に位置する当クラブは、東京湾に面したその地理的環境から、世界最高峰の海洋研究機関である海洋研究開発機構（JAMSTEC）や日産自動車・住友重機械工業をはじめとする企業が集う市内有力工業地帯にあります。

現在会員数は19名と少数ではありますが、会員自身の作詩作曲によるクラブ歌が代々引き継がれている特色あるクラブです。各種募金活動や市民参加型の奉仕活動なども積極的に行い、国際交流としては友好クラブである韓国北大邱ロータリークラブと親交を通じ、共同奉仕活動も行って参りました。

近年ではコロナ禍による世情で、思い描く社会奉仕活動が行えない状況が続いていましたが、神奈川フューチャードリームス様のご協力をいただき、新たに中学生を対象に「横須賀未来の夢プロジェクト」として青少年奉仕事業を開催いたしました。

また、地域との交流・親睦を深めるためのゴルフコンペの開催や、毎年7月に開催される「おっぱまつり」では、地域活性化の一環として地元商店会と協力し、本年はパレードの警備を担当いたしました。



野球教室



おっぱまつり



三浦ロータリークラブ

会長 加藤 隆



三浦ロータリークラブは、昨年度60周年を迎え、記念講演では元内閣総理大臣小泉純一郎氏を迎え基調講演を開催しました。また、式典交流会では60年の歴史を振り返るPVの作成やマグロの解体ショーや地元中学校吹奏楽部の演奏を行い、三浦らしさを招待したロータリアンや来賓の方々に堪能して頂きました。

前年度に新入会員が30人増え、今年度は59人スタートとなります。「継承と進化」をスローガンに、新会員の研修または親睦を深めロータリーの楽しさを伝えていきたいと考えます。



「木曜昼だヨ！全員集合！」と呼びかけ例会運営に取り組んで参ります。そして入会案内が同封されている、幸せの黄色い封筒をさらなる新入会員へ届けていきます。会員増加により委員会活動も活発に行ってい、新入会員含めメンバー全員がロータリークラブでの活動を楽しんでもらい、仲間との友情を育みながら、アイデアを出しあい、地域の人々と共に様々な奉仕活動に取り組みたいと思っています。地域の交流を大切に必要とされる三浦ロータリークラブを目指していきます。



横須賀西ロータリークラブ

会長 楠山 泰道



横須賀西ロータリークラブは1970年に発足、今年で53年になります。

現在2名の新会員の入会により14名でのスタートです。少数ですが出席率もよくほとんどが100%です。楽しく温かいクラブです。少数だからこそ皆で運営するという心意気が各行事を盛り上げます。当クラブの奉仕活動は7月には児童養護施設の子どもたちを海に、9月には献血活動。そして本年15回になるチャリティコンサートを4月に予定しています。その他では年3回の夜間例会、年4回の親睦ゴルフ、クリスマス家族会など、会員相互の親睦も深めています。しばらくみんなに会わないと寂しくなる、そんなホットなクラブです。





クラブ紹介

第1グループ

横須賀南西ロータリークラブ

会長 永井 不二男



横須賀南西ロータリークラブは横須賀の北久里浜、久里浜、野比、浦賀、北下浦地域を拠点として活動するクラブで地域の学生や住民の皆様と地域の奉仕活動を共にしております。3年後には50周年を迎えることとなりました。この節目を目標に今後、何をしたいのかクラブ内で検討して行きたいと思っております。

今年度は地域で困っていることや福祉関係の支援をはじめ、クラブで継続する奉仕活動の盲導犬育成支援、環境整備などを軸に皆様にとって希望を生み出すきっかけが出来れば幸いです。

クラブは14名の少人数会員で運営しており奉仕活動も限られた事しかできませんが、地域の皆様のご支援を頂き、精一杯頑張りたいと思っております。

前年度は女性会員が入会し、新会員も4名入会されクラブ内の雰囲気も変わり、会員増強にもクラブ内で意欲が湧いております。コロナ過で休止していた奉仕活動も復活させ会員全員が声を掛け合い良き友としてクラブ運営に参加し、楽しいクラブにしていきます。



会長幹事退任



例会場



新会員入会式

新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



ささおか しょうたろう
菅岡 将太郎
①イノベーションゲートウェイ湘南
②2022. 12. 01
③専門サービス業
④久野 孝稔



でぐち ひろゆき
出口 泰行
①三浦
②2023. 03. 09
③清掃業
④二塚 雅則



かわぐち ひろかず
川口 祐一
①茅ヶ崎湘南
②2023. 04. 26
③証券業
④大村 日出雄



こばやし すずむ
小林 進
①横須賀南西
②2023. 05. 08
③介護福祉サービス
④平野 忠雄



なりまつ しょうじ
成松 正治
①伊勢原
②2023. 06. 07
③電気設備業
④天野耕一郎、東 学



まつした けんたろう
松下 健太郎
①伊勢原
②2023. 06. 07
③情報システム
④柏木 貞俊、小泉 幸彦



おおしろ なおゆき
大城 収亨
①三浦
②2023. 06. 22
③飲食業
④二塚 雅則



ものべ ゆきむら
物部 幸村
①三浦
②2023. 06. 22
③水産小売業
④加藤 隆史



きくもと けいこ
菊本 恵子
①小田原中
②2023. 06. 22
③飲食事業
④宮古 和彦



いけの しんたろう
池野 慎太郎
①イノベーションゲートウェイ湘南
②2023. 06. 30
③不動産業・撮影業・
広告代理業
④小野 正文



ほんごう としや
本郷 俊弥
①イノベーションゲートウェイ湘南
②2023. 06. 30
③製造業
④青沼 兼忠



あんどう ともこ
安藤 智子
①小田原城北
②2023. 07. 04
③小売業
④荻野 善明、河野友美子



地域の社会奉仕団体活動を支援して

横須賀ロータリークラブ

2022～23年度 会長 **前田 長生**

(横須賀RC)



私達ロータリアンのみならず、地域での社会奉仕活動を行っている方々を随所で見かけます。そして私達ロータリアンは地域社会にとって意義ある奉仕活動とは何かを模索しているのが現状です。

横須賀RCではより実りある社会奉仕活動の実現を目指して、横須賀市内の社会奉仕団体を募り、その活動資金を支援する「奉仕の基金プロジェクト」を行った。

昨年9月よりポスターやチラシ、横須賀市役所などを通じて市内の社会奉仕団体に呼びかけて16団体からの応募を受け、この中からクラブ内委員会の厳正な審査基準により5つの団体を選出した。

昨年11月18日の夜間例会において各団体よりコンペティション形式でプレゼンテーションを行ってもらい、クラブ内ニコニコ（スマイル）を資金源とする総額100万円を会場内ロータリアンの投票により決定分配した。

《5団体の概要》

- 1) NPO法人Fun Place 39：市内の障害者スポーツ支援団体（パラアスリートサポート）の事業運営費用を支援、今年度は初めてのパラリンピックに挑戦できる選手が生まれた。
- 2) NPO法人神奈川フードバンク・プラス：生活

困窮世帯や公営団地の独居老人、ひとり家庭、子ども食堂・老人クラブ等への食品支援先を拡大する費用を支援。

3) 横須賀猫部(なかま食堂)：市内汐入地区での子ども食堂を運営、市内浦賀地区への子ども食堂の拡大費用および地域交流イベントへの参加費用を支援。

4) NPO法人プラットフォーム：子どもと若者の学習サポートおよび多世代交流を目的とした市内の施設運営費を支援。

5) 横須賀みんなのカレー食堂：子どもの孤食防止や新しく多世代を対象とした「話を聞く食堂」の活動資金を支援。

今年6月9日の通常例会において5団体の活動結果報告会を行い、各団体の詳細な活動報告と決算報告を受け、会場は温かな拍手に包まれて終了した。この模様はタウンニュースやケーブルTVニュースにも取り上げられ、横須賀ロータリークラブの社会奉仕活動の一環として地域への認知度に貢献した。

この「奉仕の基金プロジェクト」の実現により、社会奉仕活動はもとより継続的な広報活動によって今後のクラブ会員の増強にも大きく繋がるものと考えている。



第2780地区 2023年6月末 会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数									
			6月末		年 初 7月1日		本年度入会者		本年度退会者		本年度増減	
			男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員
1	横 須 賀	4	120	16	114	14	14	2	8	0	6	2
	横 須 賀 北	3	18	5	19	4	1	1	2	0	-1	1
	三 浦	5	59	6	29	1	30	5	0	0	30	5
	横 須 賀 西	4	12	0	12	0	1	0	1	0	0	0
	横 須 賀 南 西	4	14	1	10	0	5	1	1	0	4	1
	計		223	28	184	19	51	9	12	0	39	9
2	鎌 倉	4	75	14	76	15	4	0	5	1	-1	-1
	逗 子	3	39	5	41	4	2	2	4	1	-2	1
	鎌 倉 大 船	4	15	0	14	0	1	0	0	0	1	0
	葉 山	3	18	4	20	4	1	0	3	0	-2	0
	鎌 倉 中 央	2	20	8	21	7	3	1	4	0	-1	1
	計		167	31	172	30	11	3	16	2	-5	1
3	藤 沢	4	41	11	42	13	10	1	11	3	-1	-2
	藤 沢 西	3	17	1	17	1	1	0	1	0	0	0
	藤 沢 東	4	29	7	30	7	2	0	3	0	-1	0
	藤 沢 北 西	3	16	1	12	0	7	1	3	0	4	1
	藤 沢 南	4	46	8	40	7	9	2	3	1	6	1
	藤沢南デイスカパーローター衛	0	16	2	0	0	16	2	0	0	16	2
	ふじさわ湘南	3	34	1	35	1	1	0	2	0	-1	0
	かながわ湘南	3	20	12	20	12	1	0	1	0	0	0
	アーカス湘南	3	3	2	3	2	0	0	0	0	0	0
	イノベーションゲートウェイ湘南	2	44	4	29	1	16	3	1	0	15	3
かながわ DEI	2	25	8	25	9	9	3	9	4	0	-1	
計		291	57	253	53	72	12	34	8	38	4	
4	茅 ヶ 崎	4	45	5	40	5	6	0	1	0	5	0
	寒 川	4	35	2	31	1	4	1	0	0	4	1
	綾 瀬	4	36	0	35	0	3	0	2	0	1	0
	茅 ヶ 崎 湘 南	4	42	1	42	1	4	0	4	0	0	0
	茅 ヶ 崎 中 央	4	49	2	49	3	3	0	3	1	0	-1
	綾 瀬 春 日	4	24	0	24	1	1	0	1	1	0	-1
計		231	10	221	11	21	1	11	2	10	-1	
5A	相 模 原	4	64	6	68	6	3	0	7	0	-4	0
	相模原グリーン	3	44	3	49	4	0	0	5	1	-5	-1
	津 久 井 中 央	4	24	4	25	3	1	1	2	0	-1	1
	相 模 原 橋 本	4	69	10	66	9	9	1	6	0	3	1
5B	相模原ニューシティ	2	48	7	39	5	9	2	0	0	9	2
	相模原おださが	3	33	1	0	0	33	1	0	0	33	1
	相 模 原 南	4	46	9	48	9	2	0	4	0	-2	0
	相 模 原 中	4	28	4	25	3	3	1	0	0	3	1
	相 模 原 西	4	42	5	41	4	2	1	1	0	1	1
	相模原西令和大野ローター衛	2	6	2	8	4	0	0	2	2	-2	-2
	相 模 原 東	2	18	4	18	4	4	0	4	0	0	0
	相 模 原 柴 胡	4	26	3	26	2	1	1	1	0	0	1
	相模原かめりあ	2	22	22	23	23	0	0	1	1	-1	-1
	計		470	80	436	76	67	8	33	4	34	4

ローターアクトクラブ名	男女合計	女性会員	ローターアクトクラブ名	男女合計	女性会員	ローターアクトクラブ名	男女合計	女性会員
相模原 RAC	31	14	鎌倉 RAC	9	6	横須賀 RAC	9	2
小田原城北 RAC	4	1	厚木中 RAC	4	1	合計	57	24

地区内クラブ	地区内会員総数(人)
67	2,344 (307)

()内は女性会員

本年度入会者数(人)	本年度退会者数(人)	本年度会員数増減数(人)
296 (47)	187 (25)	109 (22)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2780

2023~2024 Governor

Toshihisa Tajima

OFFICE / Aizawa Bldg. #1, 5F,
22-7-501 Minami-Fujisawa,
Fujisawa-city, Kanagawa
251-0055 JAPAN
Tel: +81-466-25-8855 Fax: +81-466-25-8866



世界に希望を生み出そう

2023~2024年度ガバナー

田島 敏久

事務所 / 〒251-0055
藤沢市南藤沢22-7-501 第一相澤ビル5階
Tel: 0466-25-8855 Fax: 0466-25-8866
E-mail: g-office@rid2780.gr.jp
URL: https://rid2780.gr.jp